

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

11/27 秋年闘争勝利

千葉県総決起集会開かる

秋年闘争の高揚をつくり出し、
八〇年代を展望する闘いへ！

県労連は、十一月二七日、低迷を続ける79秋年闘争の高揚をつくり出すべく、秋年闘争勝利千葉県総決起集会を千葉市・本町公園において、県下労働者一〇〇〇名を集結して開催した。この集会には、内房線の事故のため館山不参加という状況があったとはいえ勤労千葉の各支部から七〇名の参加をもちと、県下労働者に対し、秋年闘争勝利を闘いとる決意を示した。79秋年闘争は今日、年末一時金、停年延長等をめぐり民間先行の形で進められているが、押しなべて、恐るべき資本の首切り、合理化攻撃に對し、これに反撃する闘いの組織化が皆無といて、現況であり、政府・支配階級の根底的危機のもと、日本労働運動総体もこれまた危機的状況を呈している。こうした現状を打開し、闘いの高揚をつくり出すため、勤労千葉は、三里塚・ジェット・国鉄三五万人体制粉碎を中心とする、10・22第一波、11・1第二波の減産・ストライキを実現させ、大きく秋年闘争の突破口を切り拓いてきたといえる。

官・民の硬いスクラムで闘いの前進を期す！ — 井原県労連議長 —

集会は、一八時より始められた。成毛全通委員長の司会で進められ、議長団には、千教組、川鉄各労組より選出され、主催者として挨拶にたった井原県労連議長は、「今秋年闘争は、きびしい情勢下で闘いの高揚をつくり出さない今こそ、官・民一体のスクラムのもとに闘い抜くことが大切である」ことを強く主張した。

続いて来賓の挨拶に入り、社会党県本部渡会委員長より、総選挙闘争の御礼と、共に闘い抜く決意が述べられた。

祝電の紹介があり、県労連清水事務局長の情勢報告が行われ、決意表明に移った。

決意表明は、民間、公労協、公務員共闘の各代表より行われていった。

その後、林田県労連副議長の集会宣言を全参加者の拍手で確認し、団結ガンバロー三唱を行い、千葉駅までのデモ行進を貫徹して、終了した。

79秋年闘争を全力をあげて勝ち抜こう！

総選挙を通して自民党支配体制は、崩壊の危機にさらされている。

自民党が敗北したことによって、一般消費税の導入は、断念せざるをえなかったとはいえ、国民大衆への高負担政策と他面では福祉の切り捨てなど一層の大衆収奪の政策にうって出てくることは必至である。すでにわれわれの秋年闘争あるいは、来春闘への攻撃として、日経連は過日、「消費者物価上昇分は国民が等しくその負担を負うべきで、賃上げの要因にしてはならない」という極めて反動的姿勢を示すとともに、賃上げ抑制・圧殺策動

を加えてきている。

われわれは、当面年末手当の要求獲得に向け闘い抜くと同時に、この秋年闘争を全力をあげて勝ち抜く中から80春闘の突破口をつくり出し、八〇年代労働運動の戦闘的再生をかちとっていかねばならない。

全組合員のみなさん！

われわれは、三里塚・ジェット増送阻止・国鉄三五万人体制粉碎をかかえて10・22国際反戦闘争と結合して闘い抜いた10・22第一波、11・1第二波の闘い、こうした闘いの切り拓いた地平の上にたち、今秋から来春へかけての闘いを職場生産点の闘いを軸に、決起してゆこう。

そして八〇年代の闘いへの一大飛躍を闘いとしてゆこう！

80春闘賃上げ要求
アンケート実施中！

本部では、「賃上げ要求アンケート」を全組合員対象に実施し、職場からの要求を基礎として、賃上げ要求額を決定することになっています。

全組合員のアンケートを成功させ、80春闘・大巾賃上げ獲得にむけたたたかい抜こう！

集約期日は、一二月一〇日までですの
でよろしく願います。